

第6回 《災害と文化財》

長久手にまつわる文化財

災害時に備え、文化財の日常管理や非常時の対応等について学ぶ《災害と文化財》講座シリーズ第6弾。
今講座はコロナ禍での特別編として、地元長久手にまつわる文化財についての講座です。
現在愛知芸大にて模写作品制作中の「長久手合戦図屏風」(徳川美術館本)の原本の成立ちについて、
また今春修復を終えた長久手中学校壁画「虹」について、それぞれのテーマで講師が講演します。

プログラム

講演 1 : 「なぜ長久手合戦図屏風は作られたのか」
原史彦氏 (名古屋城調査研究センター)

講演 2 : 「耐震工事が及ぼした壁画の影響 - 長久手中学校壁画の修復を通して -」
成田朱美氏 (愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所)



講師略歴

原史彦
東京都江戸東京博物館、東京都写真美術館、徳川美術館の学芸員を歴任。
東京大学史料編纂所特別研究員、愛知県史編纂委員を兼務。専門は江戸幕府政治史。

成田朱美
東京文化財研究所客員研究員を経て、愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所研究員。
JICA「大エジプト博物館保存修復センタープロジェクト」では、
古王国彩色壁画の保存修復に携わる。専門は彩色文化財の調査及び修復。

2021

11.21 日 13:30~15:30 (開場 13:00)

会場: 愛知県立芸術大学
新講義棟 大講義室

申込方法

愛知県立芸術大学Webの
申込フォームからお申し込みください。

11/15(月)までに要申込・先着順

申込はこちら



注意事項 ●参加ご希望の方は、必ず事前にお申し込みが必要です。また新型コロナウイルス感染症の状況により、予定変更あるいは中止する場合がございます。
最新情報は大学Webサイト(<https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>)でご確認ください。

お問合せ 愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課 ☎0561-76-2873
(受付時間 平日 9:00~17:30)

〒480-1194 愛知県長久手市岩作三ヶ峯1-114

E-mail: geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp
URL <https://www.aichi-fam-u.ac.jp/>

◆名古屋方面から
市営地下鉄東山線終点「藤が丘」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車、
徒歩約10分
もしくは市営地下鉄東山線「本郷」駅又は「藤が丘」駅から
タクシーで約15分

◆豊田・瀬戸方面から
愛知環状鉄道「八草」駅下車、
東部丘陵線(リニモ)に乗り換え「芸大通」駅下車
徒歩約10分

※駐車場の準備はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



●主催: 愛知県立芸術大学法人 愛知県立芸術大学
●企画: 愛知県立芸術大学文化財保存修復研究所
●協力: 愛知県立大学人間の尊厳と平和のための人文社会研究所